

2024年度 摂南大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）自己点検・評価

自己点検・評価の視点	点検・評価結果
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会において、MDASHの教育プログラムの修得状況を分析した。 2024年度における本プログラムの修了要件は、学部・学科ごとに定められている。現代社会学部、理工学部住環境デザイン学科、同生命科学科、経済学部、国際学部、および看護学部では、本プログラム修了要件の科目を必修科目とし、その他の学部・学科では選択科目・選択必修科目としている。 本プログラムは2024年度より開始し、主に1年次生が履修するため、2024年度は収容定員に対する履修率は低い。しかし、選択科目・選択必修科目としている学部・学科があるにもかかわらず、入学者数に対する履修率は高い。そのため、将来的には本プログラム対象科目の収容定員に対する履修率・履修済み学生の割合は増加することが期待できる。 また、2024年度における本プログラム対象科目の修了率は、70%～100%となっている。本学9学部のうち7学部において修了率が80%を超えており、多くの学生が到達目標を達成している。
学修成果	本プログラム対象科目のシラバスでは、到達目標を明確かつ適切に設定し、授業計画の各回で何を学ぶかを具体的に示している。ほとんどの学部・学科で、本プログラム対象科目共通の事前・事後アンケートを実施し、データサイエンスの活用事例、分析方法についての知識、留意点についての理解度を尋ねている。このアンケートは初回と最終回に履修者に対して実施し、該当する講義の履修前後での意識や理解の変化を調査している。これにより、学修成果を把握し、評価・改善に活用している。 また、本学で実施する通常の授業アンケートでは、修得できたと考える能力、理解度、関心度の高さなどについて尋ねている。このアンケートを期末に実施することで、該当する講義を履修することで得られた効果や講義運営上の課題を明らかにしている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	上述の事前・事後アンケートを集計した結果、全体的に講義を通して理解度が向上していることが示されている。ただし、授業最終回における本プログラム対象科目共通のアンケートの回収率は全体的に低調であった。これは出席率とも関係している可能性があるため、今後は履修ガイダンスでもMDASHの意義を丁寧に周知するとともに、あわせて授業改善のためのアンケートへの協力を丹念に呼びかける必要がある。 また、全学で実施する通常の授業アンケートの結果によれば、講義で取得できた能力として、多くの履修者が「一般的な教養」と「専門的な知識」を挙げていた。データサイエンスの基本的知識を習得する、というプログラムの目的に沿った成果が得られた、と多くの履修者が認識していると考えられる。加えて、全般的に講義を通して理解度が向上していることも確認できた。
学生アンケート等を通じた後輩等の学生への推奨度	一部の学部・学科を除き実施した本プログラム対象科目共通のアンケートでは、最終回実施分において、他の学生への推奨度を尋ねている。その結果、選択肢「1.（推奨が）十分にできる」「2. 少しできる」と回答したものが60%～76%を占めてることがわかった。すなわち、当該科目の履修者が今後の入学生に対して、履修を推奨することが期待できるものである。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	2024年度において、本プログラムを構成する講義は、5学部6学科で必修科目として開講した。2024年度において本プログラムを選択もしくは選択必修科目とする学部・学科も含めて、2027年度以降、全学共通の教養教育科目「データサイエンス基礎」を開講し、これを全学の必修科目とする方針である。直近では履修者数を増加かつ安定させるため、新学期の履修ガイダンス等においてデータサイエンス教育の重要性を学生に説明する。また、履修者に対しては、課題の提出率を向上させ、講義内容修得の効果が得られることを目指す。具体的には、成績評価に占める課題の割合を見直すこと、さらにこれら課題のうち、講義中に取り組むものを設定するなどの方策が有効と考えられる。

自己点検・評価の視点	点検・評価結果
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	プログラムは2024年度開始であり、本プログラムの対象科目は、2年次配当科目である経営学部の「情報倫理」を除き、1年次配当科目となっている。そのため、2024年度末の時点で、本プログラムを修了した卒業者は0名である。このような事情から、具体的な企業の評価や進路は不明であるが、今後は就職課の協力を得て、入社先の企業を対象としたアンケートを実施することで、意見を募ることを検討したい。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学で実施するアンケートや本プログラム対象科目共通のアンケートおよび数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会による自己点検・評価を通じて、改善に向けた課題が明らかになっており、これらについて、順を追って改善を進めていく。得られた意見等については、教育推進会議を通じて全学的に共有を行う。 なお、このプログラムは2024年度に開始したものであり、まだ履修経験のある卒業生はいないため、産業界（企業）からの意見は得られていないが、意見を収集するための仕組み作りを検討している。

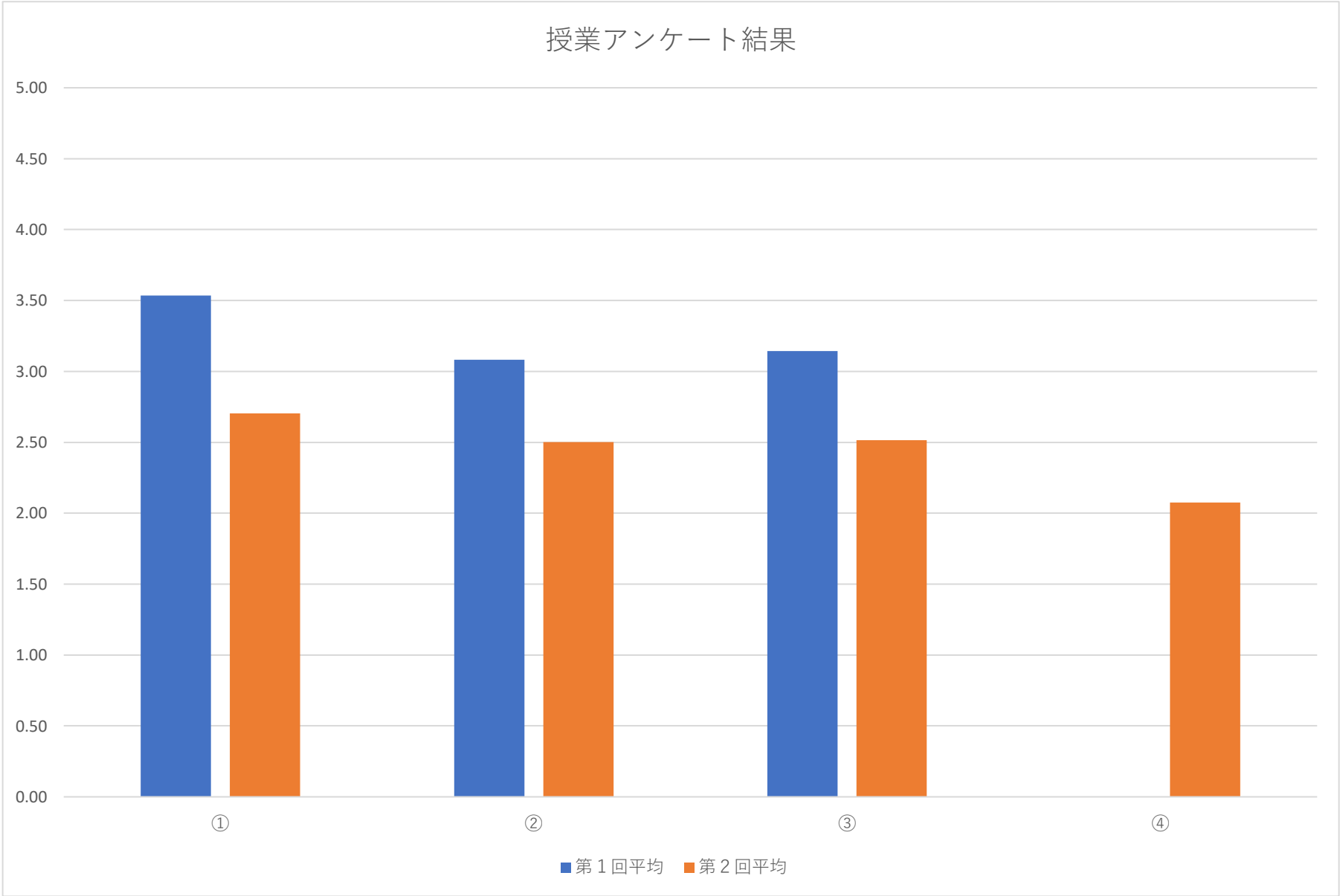
2024年度 SU-MDASH（リテラシー） 履修者数等実績

履修者・修了者の実績

[illegible]

	①	②	③	④	
	データサイエンスの活用事例について説明できますか？ 1. 十分にできる 2. 少しできる 3. どちらともいえない 4. ほとんどできない 5. 全くできない	収集したデータを読み解いてその特徴を分析することはできますか？ 1. 十分にできる 2. 少しできる 3. どちらともいえない 4. ほとんどできない 5. 全くできない	データを扱うための留意事項（情報モラルや情報セキュリティ）について説明できますか？ 1. 十分にできる 2. 少しできる 3. どちらともいえない 4. ほとんどできない 5. 全くできない	この授業の他の学生への推奨度を回答してください。 1. 十分にできる 2. 少しできる 3. どちらともいえない 4. ほとんどできない 5. 全くできない	回答者数
第 1 回平均	3.54	3.08	3.14		1,558件
第 2 回平均	2.7	2.5	2.5	2.1	884件

※集計日時：2025/02/03
※第 1 回は 1 週目授業時に実施，第 2 回は15週目授業終了時に実施



SU-MDASH（リテラシー）対象科目 授業アンケート結果 2024年度

設問 この科目の予習・復習（課題やテスト勉強などを含む）などに1週間に何時間かけましたか。

項 目	回答割合
1. 0 時間	22.4%
2. 30 分未満	28.5%
3. 30 分～1 時間未満	24.8%
4. 1 時間～2 時間未満	14.8%
5. 2 時間以上	9.5%

設問 この科目の内容を理解できたと思いますか。

項目	回答割合
1.全くそう思わない	1.3%
2.あまりそう思わない	5.5%
3.どちらともいえない	18.4%
4.そう思う	58.8%
5.強くそう思う	15.9%

設問 この科目に興味や関心をもつことができましたか。

項目	回答割合
1.全くそう思わない	2.2%
2.あまりそう思わない	6.5%
3.どちらともいえない	19.8%
4.そう思う	54.6%
5.強くそう思う	17.0%

設問 教員は、この科目の授業内容を理解させるための工夫をしていましたか。

項目	回答割合
1.全くそう思わない	1.7%
2.あまりそう思わない	5.4%
3.どちらともいえない	19.3%
4.そう思う	52.8%
5.強くそう思う	20.8%

<参考>

回答者数
1,085件
回答率
39.0%